

まつのやま

報 廣

7月号 2003. No.329



『森の学校』キヨロロ 竣工式挙行 6月24日

まるで屋外にいるような錯覚を受けるキヨロロホール
の大窓。アクリル一枚窓としては世界最大。
(横14.5m・縦4.0m・厚7cm)

※関係記事 P6~7

7月号のMENU

「合併の選択肢を探る」

～6月定例議会から、合併関係の
質疑・答弁を特集しました～ ▶P2~3

「合併したらこうなります」

～5市町村合併任意協議会で協議された調整項目を、
今月から別冊版で随時お知らせします～ ▶P4及び別冊

「がんばれ松之山！」

～こよなく松之山を愛する3人の方からのメッセージ～ ▶P8~9

「あなたのそばに消防団」

～15年度町消防団組織を紹介します～ ▶P10

「松之山ふる里カルタが完成」

～公民館でお買い求めできます～ ▶P17

一般質問で合併問題を問う

6月16日に招集された町の6月定例議会は、補正予算などの審議のあと17日の一般質問に移り、7人の議員が町が抱える諸問題について質問に立ちました。今回の広報では、6人の議員から出された合併問題についての質問と答弁を特集して取り上げます。

類似した質問で、類似した答弁がなされたものについては省略しました。またここで言う「津南衛生施設組合」とは長野県米村を除く津南・中里・松之山の3町村をいいます。



■佐藤喜一議員

現在進められている十日町広域圏任意合併協議会ではいろいろと不協和音が聞こえている中で、協議の細かい内容については協議会便りなどを見ても伝わってこない。合併に対する町の今後の進め方・日程などを示して欲しい。

一方今回、議会全員協議会の席で津南町との任意協議会発足を提案したが、その真意は何か。津南町もよいと思うが町の規模では大きな差がある。協議を進める中で困難になるということはないのか。また国の示す一市レベルでの合併という方針にも反することにもなる。やはり中里村の存在が大きな意味を持つてくるのではないのか。



重要案件については事務レベルでの調整中なので、これからが本番である。新市の名称の件で問題になったが、一部の委員の先走り発言で正式な議題ではなかった。今後の進め方は、秋口頃に新市の将来構想が公表される予定なので、合併する・しないのシミュレーション等資料も作り、集落あるいは地域懇談会を実施したあと、10月頃に住民アンケートを行う。

津南町との協議も進めたいが、できれば中里村を含めた津南衛生施設組合での合併が望ましいので、話をしていきたいと考えている。



■高橋洋一議員

地域が分散している中山間地の合併は、人口やエリア中心の考えから行うのは真意ではないと考えている。町長は合併の選択肢は複数あるというが、現在進めている5市町村任意協議会での細かい情報ですら伝わってこない中、住民にはあきらめ感さえ漂っている。今この時期に、津南町・中里村との新たな合併協議を進めるということの意味とその決意を住民に対して示すべきである。



①合併しない、②十日町広域6市町村合併、③津南衛生施設組合での合併の3つは常々言ってきた。6市町村で進めてきた②の枠組みに津南町が正式に参加しないこととなり、改めて③の枠組みを考えるに至った。現在の任意協議会は5市町村により進められているが、個人的には③の枠組みが良いと考えている。合併は町の将来を左右する大問題であり、町長と議会の議論を深めるとともに、住民の意向を尊重しなければならぬ。3町村との協議を進めることは、住民の判断資料のためにも必要と考えている。



■村山邦一議員

町長の合併選択肢の中に「合併しない」（自律）があるが、本来は財政シミュレーションを示し、この考えに基づいて検討した上に初めて合併に進んでいくのが原則ではないのか。今回津南・中里との3町村の協議も進めていくと明言したが、現在協議を進めている5市町村任意協議会の中でどのような体制で進めていくのか。町民はますます混乱するのではないのか。



自分の説明責任を行う場として、7月上旬頃に町民講座を開催する。ここで今までの経緯と今後の進め方を町民の皆様にお知らせしたいと考えている。

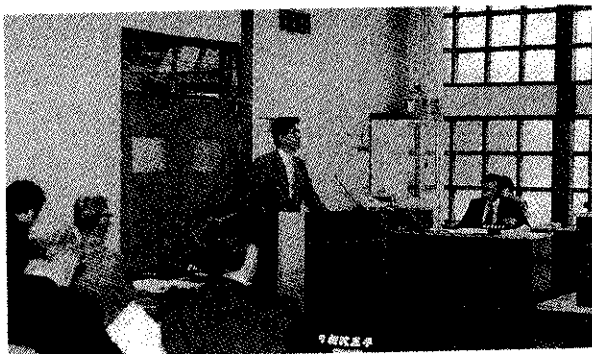


■小野塚嘉男議員

町民は、町長のいう3つの選択肢を等距離感で見ていると感じていない。まず自律できる体制を整え、初めて合併に進むのがほんとうの姿ではないのか。町長は津南との協議を始めると言ったが、その開始日・構成員等を具体的に示してもらいたい。まず仮でもよいので早急にメンバーを募り、津南・中里との話し合いの場を立ち上げてもらいたい。

町長 合併しない場合のシミュレーションも何とおりか示すつもりだが、小規模町村の権限を縮小する情報もあり、国の方針が明確でないことからなかなか難しい。

新たな任意協議会の立ち上げは議会や委員会との協議が必要であり、ここで日程を示すことはできないが、今のところ7月上旬頃を目指し動きたい。



■相沢正平議員

5市町村任意協議会のすりあわせ事項の公開も何もないこの時点で、津南との方向性を示したことで町民の間で不安の声が聞こえる。方向転換するのであれば、関係組織や住民に対して納得できる説明をしないと、今後に大きな影響が出るのではないかと。2つの協議会を継続することは危険だ。たとえ今回津南・中里と合併しても、将来また合併問題が浮上する事になるのではないかと。

町長 私としては、現任意協議会を進める中でだんだん明確になってきたそれぞれの市町村の体質や認識を見るに当たり、津南・中里・松之山の3町村の合併が望ましい一つの選択肢であると判断した。しかし3つの選択肢については、現段階ではもっともっと議論してもらいたい。この問題は町長一人が判断すべき事項ではないということを議会でも再認識していただきたい。

中山間地自治体での行政サービスは、やはり2万人程度が一番きめ細やかに対応できる規模ではないかと思っている。将来さらなる合併も必ずあると思うが、それはより大規模なものになっていくのではないかと。現状では第1段階として3町村がよいのではないかと考えている。

複数の任意協議会については、津南・中里との話し合いで任意協議会の設立が可能であれば、その時点で一つに絞る考えでいる。



■高橋英一議員

国は地方の時代をたてまえに合併を進めているが、現実には交付税など財源措置の縮小が目的である事は明らかだ。昨年12月の合併懇談会で配布した資料での、新市の財政将来像は余りにも非現実的ではないか。10月にアンケートをやると言うが、合併しない場合の交付税措置など含め、もっと現実的な数値を早く示すべきだ。

町長 昨年の資料は十分検討を加えたものとは言えないが、あの段階ではあの程度しかできなかった。問題は、合併するとほんとうに余裕が出てくるのかということだ。本来そうあることを目指した合併でなくてはならない。国が目指す将来像も不透明な今では見通しはなかなか難しい。ただ国の動きや財政状況を見ると、合併しない場合の交付税が現状で保証されると考える方が不自然ではないか。

国 みんなでささえあう 保 (国民健康保険)

みなさんの健康を守る大切な制度です



国民健康保険は、私たちがけがや病気をしたときに安心して医療を受けられる医療保険制度です。

この大切な制度は皆さんのご理解とご協力があったり初めて健全に運営されるものです。

また制度を維持してゆぐためには、皆さんから納めて頂く保険税が基礎となります。保険税は国からの負担金と合わせて国保の大切な財源となり、医療費や出産育児一時金、葬祭費などの給付費として使われます。

平成15年度の税率・税額が決まりました。(下の表をご覧ください) 税率・税額ともに平成14年度と据え置きとなります。

保険税の額は、その年に予測される国保全体の医療費から、受診の時患者が負担する分と国などの補助金を除いた額となります。

一世帯あたりの年間保険税額の限度額は、医療分で五十三万円、介護分で八万円です。また所得の低い世帯には、その世帯の総所得と被保険者数により2割5割、7割の軽減制度があります。

平成15年度の
税率・税額
が決まりました。

保険税はどのように計算します

※40歳未満の世帯と65歳以上の世帯は、医療保険分だけの負担です。

医療保険分(国保加入者全員で計算します。限度額53万円)

介護保険分(限度額8万円)



年間の国民健康保険税 = 医療保険分 + 介護保険分

第6回

十日町広域圏合併任意協議会速報

協議終了項目を広報別冊版でお知らせします

■会長が各委員に対し再認識を要請

本協議会の発言で住民に不安材料を与えたことに対し山本会長は、「各市町村にはそれぞれの考えがあり論議することは大いに結構だが、委員は各地域代表であると同時に広域の代表であるということ、また5市町村が仲良くまとまっていこうという目的で発足した本協議会の趣旨を再認識してもらいたい。」と述べ、安易な発言を控えるよう要請しました。

■地域条件に応じた行政サービスも必要ではないか

これから生活に密着した協議項目が続々あがってきています。今回は高齢者福祉や介護保険等の福祉関係について協議を行いました。概ね幹事会の案で了承されましたが、保育料については軽減率の高い松代・松之山が問題になりました。案では段階補正により一律とするものでしたが、川西町長の「負担増分はサービスの向上に反映すると言うが、地域的に一律のサービスを受けられるとは言い切れない。もっと地域に配慮した案を」という意見があり、この件は幹事会に差し戻され再考されることになりました。

■広報別冊で随時協議結果をお知らせします

協議が終了した項目の中から生活に密着した項目を優先に、今月から広報別冊版として印刷し、皆様にお知らせすることになりました。なお原本は役場で閲覧できますので窓口に声をかけてください。

第7回 合併任意協議会のお知らせ

日時:平成15年7月24日(木) 午後1時30分より

会場:十日町市 クロス10

※詳しくは協議会だよりをご覧ください。



入院すると、
食事療養費が
必要なんですって!

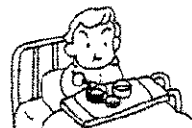
入院すると入院時食事療養費の一部負担金として、1日780円を医療機関に支払うこととなりますが、住民税の非課税世帯には減額される制度があります。

保険税や医療費のことでわからないことがありましたら、担当までお気軽にお問い合わせください。

総務課住民係 国保担当：高橋まで

入院時食事療養費の支給

入院中の一日にかかる食事代のうち780円を一般の被保険者の方々に負担していただき、残りを入院時食事療養費として国保が負担します。

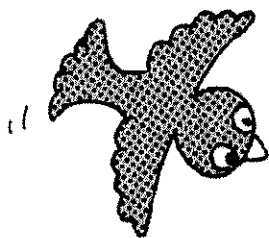


入院時の食事代の標準負担額

一般		1日780円
住民税非課税世帯	90日までの入院	1日650円
	90日を超える入院	1日500円
住民税非課税世帯の 老齢福祉年金の受給権者		1日300円

※住民税非課税世帯の方は「標準負担額減額認定証」(申請により交付)が必要となります。

◆食事代の標準負担額は、高額療養費を算定する自己負担額には入りません。



9月から保健証が変わります!!

9月1日から保険証が新しくなり、色が「空色」に変わります。現在使っている「桃色」の保険証は8月いっぱいまで使用できます。



松之山に来る前はこんなに自然が多い所に住んだ事はありませんでした。最初の1・2ヶ月くらいよく公民館や車の中から景色を見て松之山はとてもきれいで穏やかな所だと思いました。でも家に帰って夜になるとアパートがすごく暑くて窓を開けたまま寝ると蚊が入って寝られませんでした。しかし窓を閉めるともっと暑くなって寝られませんでした。

だから秋になった時とてもうれしかったです。景色がもっと美しくなって涼しい風が入って松之山は最高だと思いました。そして冬に入ってたくさん雪が降って景色が変わりましたがまだきれいでした。でもアパートは夜になるととても寒かったです。いつも暖房、炬燵の中にいました。寝る時暖房を付けたままでは危険なので消しました。すぐ頭と耳が寒くなったので帽子をかぶって寝ました。アイオワ州の家々に皆はセントラルヒーテ

ィングがあるので松之山の冬の夜はとても長い感じがしました。でも春が来るのは楽しみにしてませんでした。なぜかという春が来たら夏も来ます。

子供の時から暑い季節に強くなかったのです。今も暑い日に外で何かをしているといらいらしです。暑い季節に慣れていないというわけではありません。アイオワ州は蒸し暑くて気温も高くなります。松之山は夏も景色がきれいですが暑い時期はさらいな虫が多いし大嫌いな蛇もよく見かけるので私にとって夏は苦手な季節かもしれません。でもよく考えてみると虫達や蛇、蛙等が多く生息しているという事はそれだけ自然が豊富な所という事なのです。そして私はこの自然がいつ迄も保たれる事を心から願っています。

私は7月の末にアメリカに帰ります。松之山で過ごすのは残り1ヶ月になりました。この1ヶ月で、松之山のことや日本のことをもっと知りたいと思います。

※来月号がベッキーさんの最終回となります。

羽ばたき始めた「森の学校」キヨロロ

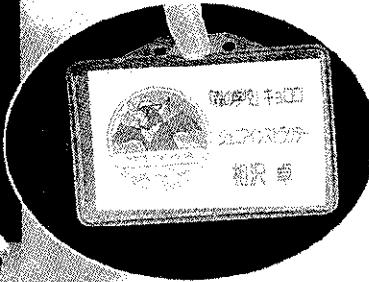
【式】
キヨロロホールで行われた竣工式には、来賓・関係者約1,000名が参列しました。



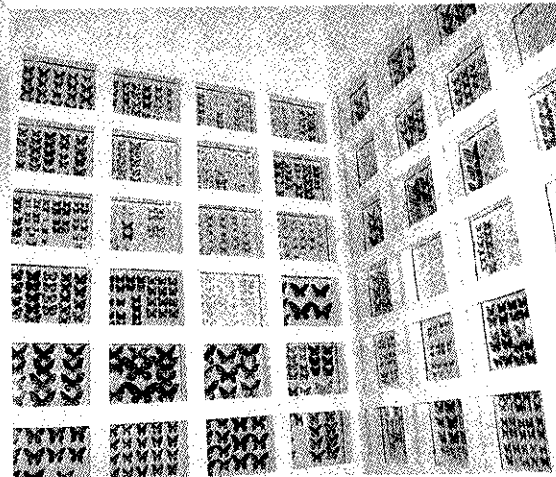
松之山の情報発信の中核施設として、いよいよ「森の学校」キヨロロが活動を開始しました。去る6月24日(火)には、近隣市町村長を始めたくさんの来賓と関係者から出席していただき竣工式が挙行されました。今年新たに結成された「ジョニアインストラクター」(松之山小学校5年生)の任命式も行われ、今後の活動に向かい熱い決意を述べました。子供から大人まで、多くの町民・ボランティアに支えられながら羽ばたきを始めたキヨロロ。大きく育て世界に飛び立たせましょう。



活躍に期待します。ジョニアインストラクター



一般公開期間中延べ1,600人余りが訪れました。

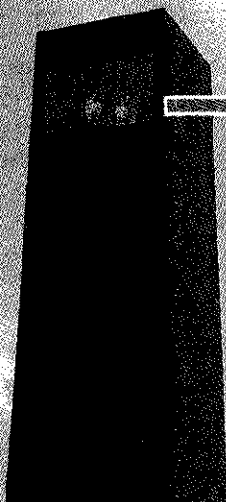


志賀勇助氏の「蝶のコレクション」
5,800点に及ぶ標本を、道持入れ替えて展示します。

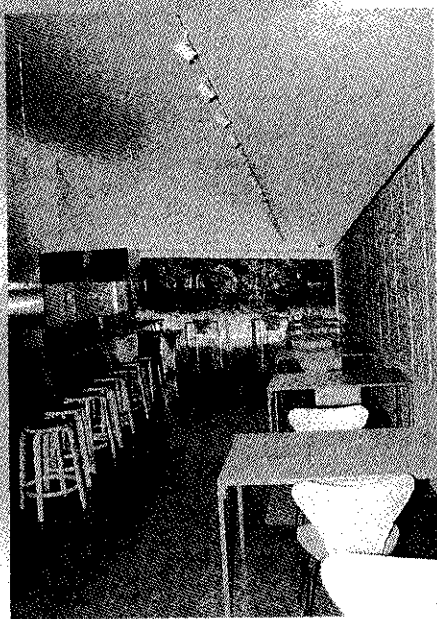
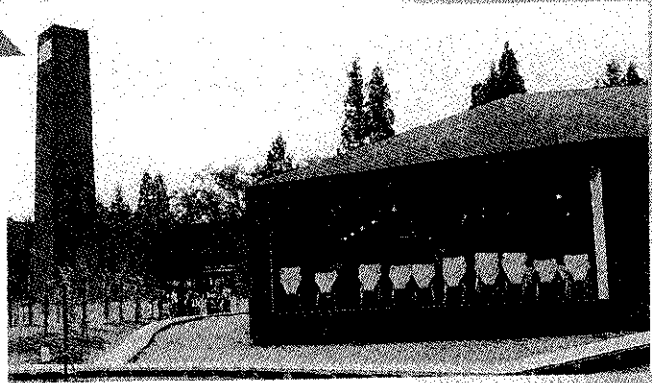


キヨロロホールで 第5回「越後松之山 里山学会」開催

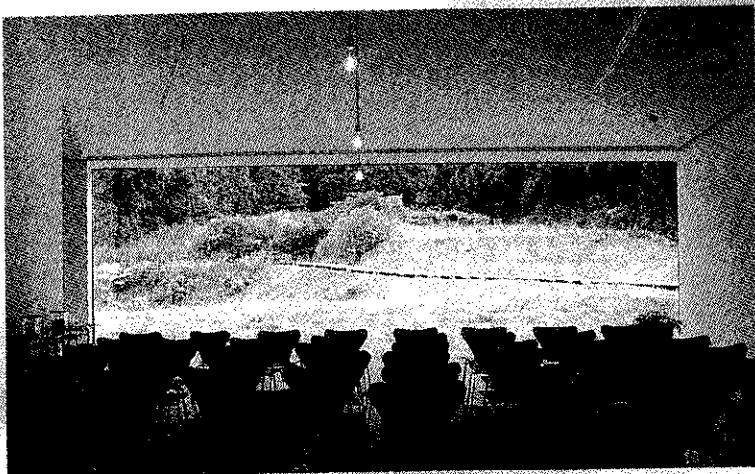
6月28日、午後2時より真新しいキヨロロホールで、第5回目となる里山学会が開催されました。今回は総合地球環境学研究所教授の湯本貴和氏を迎え、縄文杉で有名な屋久島で展開されている自然博物館構想について講演をしていただきました。「ここは南の島ですが、海拔が0~1,900mまであり、亜熱帯から亜寒帯までの1,500種に及ぶ植物が生育する自然豊かな島です。ここでは住民が中心となって、島全体を自然の博物館にしようと言う『屋久島オープン・フィールド博物館』構想に取り組んでいます。このことは現在森の学校が進めようとしていることと共通点がありますが、ただ良い物があるというだけではだめで、リピーターを作る仕掛けや工夫が絶対に必要です。松之山では、ファンクラブ・エコツーリズム・グリーンツーリズムの3つをどう生かしていくかがポイントになるでしょう。」



30メートルの高さから見る眺めは最高です。ただし、160段の階段を上ってから。



食文化体験工房



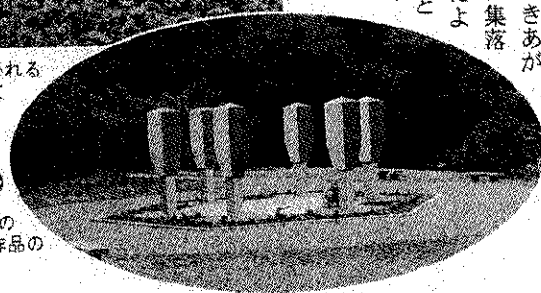
キョロ口ホールの大窓

キョロ口の高さはすべてアクリル板を使っています。ガラスに比べて強度は格段の差があり、松之山の雲にも耐えられます。従って羽目板はいっさいしません。建物も厚さ6ミリの特殊鋼材を使っていて、冬はすっぽりと雪に埋まります。窓から積もった雪の断面を見ることができます。



① 芸術祭参加6市町村に置かれる「花のサインオブジェ」にて（美人林入り口）

② 「悠々なる恵み一松之山の野草の花々とブナ林」と題した、猪之名在住・木村豊彦氏の作品。沿線7カ所に作られた作品の一つで「ブナの四季」



開催まで後わずかとなり、出展作品の準備も着々と進んでいます。大荒戸から、松之山ステージの拠点「森の学校」キョロ口に通じる町道沿いにも作品ができあがり、6月27日の午前に大荒戸・松口集落住民を中心としたボランティアによる花植作業が行われました。作家と住民が協力して作品を仕上げる、というのが今回の芸術祭の特徴でもあります。

7月20日
いよいよオープン
第2回「大地の芸術祭」

里創プラン通信
Vol.44



輝くふるさとを 誇りに

東京松之山会 会長

高橋 秀夫

この頃、多くの皆さんが「松之山がよくテレビや全国紙に出ますね」と幾分羨望を含んだ言葉をかけてくださる。松之山町は全国から注目されている。温泉は言うに及ばず、美人林に代表される自然、「アカショウビンは松之山」といわれる野鳥の宝庫でもある。最近、癒しだ、自然だと脚光をあび直されている棚田。それはすでに13年前にグリーンリース事業として全国に発信されたものである。

毎年三回、田植え・出穂観察・稲刈りとお世話になっているグリーンリース事業は当会の活動の中心ですが、東京新潟県人会参加の郷人会でも郷里との交流の柱にしようと、貸し農園事業に関心が高まり、大勢の方が研修参加くださるようになっていきます。

浦田地区の豪雪を逆手にとった豪雪塾、山村留学が

らNPOふるさとわっしょい、薪能の上演など多くの情報が松之山から全国に発信されている。そして須山地区に新たに開館したキョロロには、志賀邦助翁の蝶のコレクションをはじめ新たな里山の文化が発信されるという。今夏は大地の芸術祭と合わせ、見逃せないイベントが目白押しである。松之山の在京7団体も積極的に協賛させて頂きます。

こうした事業も行政だけでなくボランティアの皆さんにサポートされていることに大きな意味があり参加者の共感を呼び、さらにいっそうその輝きを増している。次から次へと10年後を先取りした事業を展開する故郷を誇りに思うと同時に、今後も中山間地のオピニオンリーダー（※）として強靱な活動を展開されることを願っています。

（※世論の形成に指導的な役割を果たす人）

■本人は中尾、奥さんは水梨出身。東京松之山会の結成に奔走し、グリーンリース事業には第1期より参加。自ら会員と故郷の架け橋であるカントリーポエムの編集を手がける。平成15年度より松之山会の会長。



松之山の 味わい方

赤倉在住 鶴田 豊子

「松之山」という素朴な器に入った一椀。実に味が良い。料理名を「日本の原風景」という。

椀のふたを開けると緑豊かなさわやかな風が起り、香り高さおふくろの味。その調味料は人情。豪雪という苛酷な状態で発酵させたので、ふくよかで調和のとれた穏やかな味に仕上がっている。彩りも鮮やかで、四季の旬を味わい尽くすのが特徴。

見た目も実に美しく仕上がっているのは、長い祖先の苦勞が培った伝統の味だから。歴史に裏打ちされた文化の「美」である。それはどんな芸術家もかなわない、生活に根付いた「美」である。

ただ最近心配なことがある。ゲイジュツという名の鉄やコンクリートでできた不自然な結晶を持つ化学調味料が所々にふりかけられはじめた。この傾向が続くなら「日本の原風景」という料理名を変更しなければな

らなくなる日も遠くない。おまけにこの料理にガッペイという薬味を加えられようとしている。薬味は扱いが難しく、選び間違えると味は台無しになってしまう。

しかし、まだ間に合う。町民という名の絶妙な技を持つ料理人が、厳しい眼差しで素材を厳選し、研鑽を積み、力を寄せ合うなら、今まで以上の味わいに仕上げることができる。

長い歴史の中で祖先が培ってきた伝統に誇りを持ち、この「天然自然の調理素材」本来の味をいかに魅力的に引き出すかがポイントとなる。

そうすれば、都会の人たち、日本中の人たち、いや世界の人たちまでも注目するグルメな一品『日本の原風景』を、堂々と胸を張って世に問うことができる。

がんばれ松之山！

■何気なく訪れた松之山が、都会生活に疲れ果てた身体を元気にしてくれる。当人は奇跡だという。5年前に永住を決意し現在赤倉に居住、都会人との交流で活性化の一役を担う。この春、紹介せずにはいられないという気持ちから「暮らしてみたら魔法の里」という本を出版した。

がんばれ

松之山

このちっぽけな松之山に、なぜこれほど人が引きつけられるのか？

かわり方は違って、こよなく松之山を愛する三人の方にメッセージをお願いしました。それぞれの立場から松之山を語ってもらいます。

松之山は実家

松之山学園指導員

池田 美佳



6月7日(土)梅雨入り前の週末に、約70人の人々が松之山に集合しました。松之山学園始まって以来の「親睦会」です。山村留学が始まって17年目。今年度は残念ながら山村留學生はいませんが、ここを巣立ったどの留學生、そしてどの親にとっても「松之山」はかけがえのない土地に違いありません。その土地で「お世話になった農家の方々を呼んで、ぜひ親睦会をやってみたい」と話が来たのは昨年12月でした。主催は元山村留學生とその保護者有志。場所はもちろん松之山学園で、と準備が進められてきました。当日は16年間の留學生とお世話になった受け入れ農家のすべてに声をかけ、そして集まったのが70人。私自身もすっかり「元山村留學生」に戻り、昔話

に花が咲きました。松之山に住んでいる人が「イベント」として人を呼ぶのではなく、ここで暮らした人がこの地で「イベント」をするために人を集め、そして自分たちからやってくる……。これこそ真の交流だと思えます。ではなぜ松之山なのか？ それは留學生一人ひとりが松之山に「入り込んだ」からであり、それをこの町は「受け入れてくれた」からでもあります。小中学生という多感な時期に、松之山の四季・自然にふれて感動し、その自然と「共存」している人びとに触れ、優しさ、温かさ、そして厳しさをもらったからです。人間の力ではどうにもならない自然を知り、自分を親身になって見守ってくれる人と出会ったからです。だからこそ松

■自ら山村留學生の第一期生として、三年間を松之山で過ごす。郷里に帰り学生生活を過ごし、さらにアメリカで3年半の留学の後松之山に戻り、松之山学園の指導員となる。現在「NPOふるさとわっしょい」のスタッフとして、松之山の良さを子供達に伝える仕事に情熱的に取り組んでいる。

之山は、山村留學生にとってふるさとであり、松之山学園は実家なのです。今の自分があるのに必要なもの、実家、そしてふるさととは、あるがままに残して守っていききたいものですね。それが今の社会にとって一番大切なことなのではないでしょうか。もちろん未来の人たちにも……。



13年目を迎えたグリーンリース事業23組の会費、田舎えこは2日間、81名が参加



都会の子供達の田舎体験



久しぶりにふるさと松之山の両親と再会し話が進む(松之山学園にて)



真夏の松之山の味わい方。緑陰レストランで緑風付コーヒーを……。 (赤倉の自宅でくつろぐ鶴田さん)

いざという時に あなたの力になります!

平成15年度 町消防団組織紹介(班長以上)

- 団本部**
- 団長 保坂久美夫
 - 副団長 佐藤 正徳(教育主幹)
 - 草村 茂(教育主幹)
 - 技術部長 小野塚 茂
 - 予防部長 相澤 敏
 - 訓練部長 関谷 敏明
- 本部分団**
- 分団長 高橋 明
 - 副分団長 佐藤 知浩
 - 本部機動隊長 山岸 正幸(自動車ポンプ)
 - 副機動隊長 関根 勝(自動車ポンプ)
 - 班長 本山 敏雄(ラッパ隊)
- 第1分団 松之山地区**
- 分団長 志賀 恵雄(松口)
 - 副分団長 相澤 正和(水梨)
 - 第1機動隊長 小口 武宏(自動車ポンプ)
 - 副機動隊長 小堺 正彦(自動車ポンプ)
 - 班長 田辺 昭(自動車ポンプ)
 - 第1部長 小林 慶雄(湯山)
 - 兔口班班長 植木 竜博
 - 光岡班班長 津端 金一
 - 新山班班長 山岸 宗雄
 - 湯山班班長 小林 哲
 - 第2部長 福原 賢(小谷)
 - 水梨班班長 相澤 昌之
 - 小谷班班長 福原 浩昭
 - 大荒戸班班長 山岸 治二
 - 第3部長 村山 道夫(橋詰)
 - 下川手班班長 保坂 繁
 - 上川手班班長 小野塚 修

- 第2分団 松里地区**
- 分団長 村山 信吾(湯本)
 - 副分団長 中山 直樹(中塚)
 - 第2機動隊長 中村 健一(自動車ポンプ)
 - 同副機動隊長 柳 一成(自動車ポンプ)
 - 班長 小野塚 賢(自動車ポンプ)
 - 第1部長 村山 昭夫
 - 上湯班班長 高澤 利昭
 - 第2部長 佐藤 重幸
 - 天水越班班長 滝沢 貴臣
 - 第3部長 高橋 伸幸
 - 天水島班班長 高橋 一夫
- 第3分団 布川地区**
- 分団長 小野塚 三(藤倉)
 - 副分団長 小林 勝男(上殿池)
 - 第1部長 小野塚 和久(東川)
 - 積載車隊長 重野 一男
 - 積載車班班長 鈴木 富雄
 - 上殿池班班長 西沢 善光
 - 第2部長 涌井 智(藤倉)
 - 藤倉中尾班班長 小野塚 敬之(藤倉)
 - 第3部長 渡辺 正信(東山)
 - 下布川班班長 山岸 正義(坪野)
- 第4分団 浦田地区**
- 分団長 保坂 進(豊田)
 - 副分団長 本山 義昭(田麦立)
 - 第1部長 小見 幸則(黒倉)
 - 1班班長 布施 敏也(黒倉)
 - 2班班長 南雲 澄夫(西の前)
 - 第2部長 村山 一司(北浦田)
 - 3班積載車隊長 若月 正富(湯之島)
 - 積載車班長 久保田 久夫(新田)
 - 4班班長 保坂 直樹(豊田)
 - 第3部長 黒川 順一(月池)
 - 5班班長 村山 重雄(中塚)

災害から生命と財産を守る消防団。町消防団は十日町広域消防と連携し、日々の予防活動や定期的な訓練を通して、常に緊急時に対応できる体制を整えています。



夜間の統一訓練 6/20 町民グラウンドにて



実際の火災を想定した実地訓練 6/22 浦田小学校付近にて



わが家の人気もの

こうた
航太ちゃん(2歳)

小野塚 修・真智子さんの長男
(松之山・町営住宅)

■コウちゃんのおとうさん、工事のお仕事してるんだよ。だからほくもダンプとかユンボとかブルドーザーとかい〜っぱい集めて、毎日家の中で工事中さ。おとうさんよりすごい仕事するんだから。■おかあさんとお買い物に行くときは、鮮魚コーナーに釘付けになっちゃう。お魚さん見るのも食べるのも大好き。特にアジの開きは最高だね！■ほくね、人とバイバイするのが大好きなんだ。今度道で会ったら「コウちゃんバイバイ」って声をかけてもらえるとうれしいな。いっばい手を振っちゃうから。

【お父さんから一言】

男らしく、周りの人に優しい、元気な男の子になって欲しいです。



みづき
美月ちゃん(2歳)

高澤雄基・美枝さんの長女
(湯山・加城)

■みづきはこの春とっても悔しかったんだ。だって楽しみにしていた入園式に水ぼうそうで出られなかったの。でもその日の朝、みんなと同じように園児服着せてもらって、おうちで写真とってもらったんだ。ありがとうお母さん。写真はそのときのものです。■今度は楽しかったこと。小学校の運動会で初めて保育園のおどりに出ました。まだひよこ組なんで衣装はないんだけど、お兄ちゃんズボンの裾踏んづけながら隣でがんばった。いつもまねばかりしてるから、こんな時はとっても便利だよ。

【お母さんから一言】

元気で明るく、思いやりのある女の子になって欲しいです。

■注文は前もって！電話でもかまいません

おクスリが残り少なくなったら早めに注文してください。4・5日前でもかまいません。また、診療所の窓口に来て注文しなくても電話でもかまいません。窓口の場合は作るのに時間がかかり、待つて頂くこととなります。

■注文はできるだけ午後

午前中は外来診察の患者で混みます。午後はすいていますので、できれば午後に注文をいただき翌日以降に取りに来ることをおすすめします。

■受け取りも出来れば午後

薬局も午前中は外来診察の患者さんで混みます。薬剤師からのおクスリの説明も十分時間をかけられません。空いているときならゆっくり落ち着いて説明を受けられます。午後に来ることができる方はできるだけ午後にしてください。

■受け取りも出来れば午後

松代病院でも8月4日から調剤薬局ができ、診療所と同じような体制になります。従って病院からもらった処方箋をファックスで送ってもらい、松之山薬局でおクスリをもらうことができるようになります。

松代・十日町病院でおクスリのできるのを待っていないで、松之山に帰ってきて薬局に寄るとできあがっている……とすることができるようになります。

かかりつけ薬局を持ちましょう

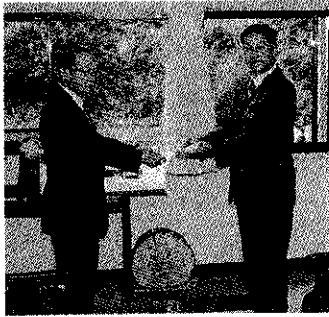


薬局は自由に選べます

おクスリの注文はここ

診療所NEWS

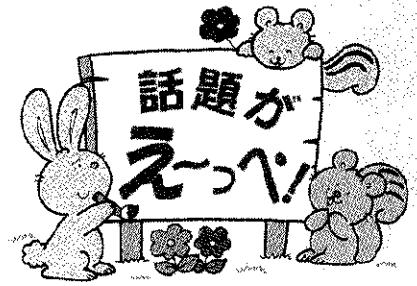
松之山町国民診療所



東北電力㈱十日町営業所では、管轄する地域の皆様に役立ててもらおうと毎年街路灯の贈呈を続けています。今年も6月12日に同営業所の佐藤課長が役場を訪れ、20W蛍光灯の街路灯9基が町長に手渡されました。これらの街路灯は町内各所に設置され、皆様の足元を照らし続けています。

今年も9基の街路灯を頂きました

6.12 (THU)



6.4 (WED)

第2回不法投棄ゴミ回収大作戦

負の財産 作らない 残さない

自然と観光の町をきれいにしようと、町商工会青年部の発案で始まった町内不法投棄ゴミ回収大作戦の第2回目が、昨年の国道405・津南境に続き、今年は東山集落から中里村に抜ける林道・小沢東山線で行われました。商工会青年部と保健福祉課の呼びかけ

に、町建設業協会が大型クレーンやダンプトラック持ち込みで参加し、はるか崖下まで広がっているおびただしいゴミの回収に挑みました。当日は商工会・業者・地元・J.A・駐在所・役場などから総勢60名が参加、朝8時半から4時まで作業が続き、



■分別に困るようなゴミがたくさん出たときは、津南ゴミ処理場に自分で運んでみてください。係員が丁寧に方法を教えてくれます。(持ち込み料がかかります)

■回収ゴミ量 冷蔵庫・洗濯機などの家庭ゴミ類他 約6,400kg
バイク・農機具など 約600kg
(2tトラック7台+軽トラック15台分)

6.2 (MON)

住民有志でゴミ回収

一方新山集落では、集落はずれの国道353沿い道下で回収作業が行われました。区長の呼びかけに周辺の住民有志10人が快く同意しこの日の作業が実現したものです。

大物の回収はロープやはしごを持ち出しての大作業となり、心機に駆けつけた松之山駐在所所長も汗びしょりになって作業に当たっていました。回収ゴミ量は約1,100kg、ご苦労様でした。



① 6/7(土) 楽しい運動会



② 式辞を述べる 高橋理事長

5.31 (SAT)

特別養護老人ホーム

「不老閣」が

創立10周年を迎えました

高齢化率の高い松之山町で将来の高齢者介護の必要性を見据え、平成5年4月にオープンした不老閣が今年10周年を迎えました。これにあわせ5月31日(土)に休養村センターに於いて、来賓・関係者約50名が参列し記念式典が行われました。現在不老閣では満床の入所者、平日のデイサービス、短期入所サービスの3事業に、42名の職員が24時間体制で介護に当たっていますが、子供から大人まで幅広いボランティアの方々の活動が施設運営の大きな力となっています。

6・21 [SAT]

黒倉地区に『エデンの花畑』がオープン!

場所はちょうどおふくろ館の裏側、棚田に囲まれた約2ヘクタールの斜面一帯が一面の花畑に変身しました。広い園内には20万本を超える多種多様なハーブ・草花が植えられており、これから晩秋まで季節折々の花が楽しめるそうです。7月中旬頃

が最高の見頃になりそうというお話でしたので、皆様ぜひお出かけください。なお園内には売店やトイレもありますので、ゆっくと過ごして頂けます。花の様子など、詳しいことは電話で問い合わせてください。



■電 話：0255963350 (現地事務所)
■営業時間：午前9時から午後5時半
※降雪期まで無休
■入園料：一般 大人600円
小中400円



6・25 [WED]

松之山統合保育所の建設が始まります

来年度からの3保育所統合に向かって建設される新松之山保育所の安全祈願祭が行われました。年度内の引っ越しを目指し、急ピッチで工事が進められます。場所は松之山小学校グラウンド下です。町道のすぐ脇ですので、通りすがりに進捗状況をご覧ください。

6・14 [SAT]

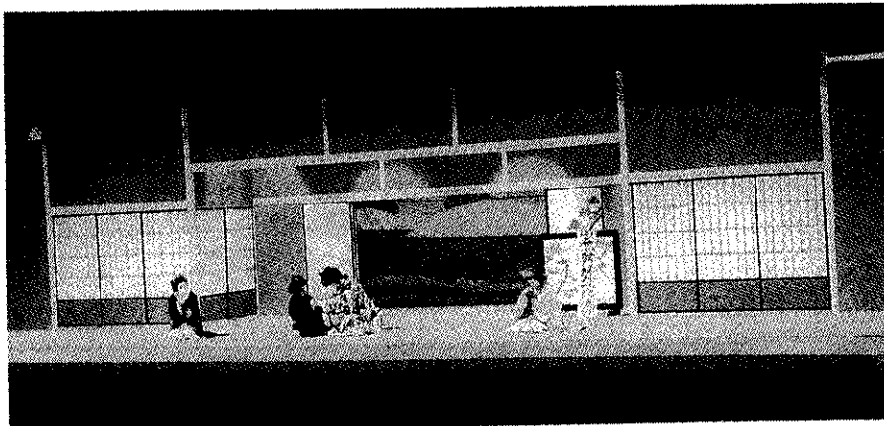
松之山分校野球部 北信越地区大会に出場

県予選で2位となり、今回頸城村営くびき球場で行われた第4回北信越地区高等学校軟式野球大会に出場した松高野球部は、1回戦で富山の富山商業と対戦し10：7で惜しくも敗退しました。部員は現在マネージャーを含め20人と、松高では最大の部となっています。1年生部員も6人おり、来年の活躍が期待されます。



6・28 [SAT]

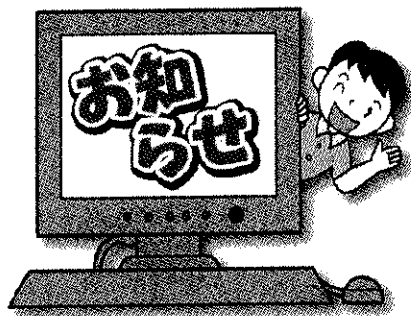
上川手歌舞伎 にいがた歌舞伎まつりで熱演



6月28日・29日の両日、六日町で開催された「にいがた歌舞伎まつり」に、上川手歌舞伎保存会が出演しました。出演は28日の午後2時から。昨年町芸能祭で初めて演じた「増補菅原伝授手習鑑・松王下屋敷の場」を見事に演じ、1200人収容の六日町文化会館大ホールいっぱい詰めた観客から熱い声援を受けました。

速報!! 平成15年8月25日から 住基ネット第2次サービスが開始されます

昨年8月、全町民個人ごとに「住民票コード」という11桁の番号をお知らせして運用が始まった「住民基本台帳ネットワークシステム」ですが、今年8月25日からは、希望者へのICカードの作成とその利用、年金受給者の年1回の現況届の廃止などを盛り込んだ第2次サービスが開始されます。詳しい内容については来月号でお知らせします。



「Uターン就職ガイダンス」を開催します。

ハローワークでは、上越地域へのUターン就職希望の方を対象とした「Uターン就職ガイダンス」を下記により開催します。学生・社会人を問わず、上越地域への就職をお考えの方はお気軽にご参加ください。

- 日時 平成15年8月9日(土)
12時(正午)から午後3時
- 会場 上越マントンホテル
J.R高田駅より徒歩3分
- 内容 企業との懇談(面接)
企業情報・求人情報の提供
ハローワーク職員による職業相談
- 問い合わせ先
ハローワーク上越 職業紹介部門
☎025-523-6121

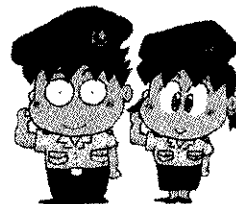
来春入隊の自衛官を募集します

募集項目	応募資格	受付期間	試験日
一般曹候補学生 (陸・海・空)	18歳以上24歳未満の者	8月4日～ 9月10日	9月20日(土)
曹候補士(陸・海・空)	18歳以上27歳未満の者	同 上	9月20日(土)
航空学生(海・空)	18歳以上21歳未満の者	同 上	9月23日(火)
2等陸・海・空士	18歳以上27歳未満の者	同 上	9月27日(土)と28日(日)の2日間

◆試験会場……陸上自衛隊 高田駐屯地予定

◆詳しいお問い合わせは……

防衛庁 自衛隊新潟地方連絡部 高田募集事務所
上越市本町6-1-23 高田館ビル2F
TEL 025-523-5519
URL: <http://www.info-niigata.or.jp/~tplo/>
E-mail: tplo@info-niigata.or.jp
iモード <http://www.info-niigata.or.jp/~tplo/imoddbosyu.html>



ご存じですか? 検察審査会

交通事故や詐欺など、犯罪の被害にあつて警察や検察庁に訴えられなくても、検察官が被疑者(犯人と思われる人)を起訴してくれない、不服である。このような場合に、その不起訴処分がよいかどうかを、国民の中からくじで選ばれた11人の検察審査員が審査するのが検察審査会です。この制度は、法律として施行されて以来今年7月12日で55周年という長い歴史があります。万一このような事例に出会ったときはご相談ください。
■詳しくは、高田検察審査会事務局まで ☎025-524-5160

“交通安全・チャレンジ100”の参加募集が始まりました!

家庭・職場・高校生など5名でチームを作り、9月23日から12月31日までの100日間の無事故・無違反達成を目指す運転者の交通安全イベントです。昨年町では20組が挑戦しました。申し込みは9月1日までに専用はがきで行います。はがき付き案内は役場にありまますのでぜひご参加ください。なお各事業所には別にご案内します。

■問い合わせは、総務課行政係:中島まで

安塚地区振興事務所主催の講習会が開かれます

これからの地域づくりは住民が主役。住民主体の元気づくりがどんどん継続するよう、『地域特性にあったNPO活用講習会』と題した講習会を二部形式で開催します。ぜひご参加ください。

《第一部》

■日時 平成15年8月9日(土)

午後1時30分～4時30分

■会場 浦川原村中央公民館(役場隣)

■内容 基調講演(新しい公共の担い手となるNPO)

パネルディスカッション(パネル3色)

※申し込みは期日までに役場振興課(6-1-3134)の田辺・高橋へ

第一部……平成15年7月31日(木)までに

第二部……平成15年8月14日(木)までに

《第二部》

■日時 平成15年8月23日(土)

午前9時30分～午後4時30分

■会場 安塚町民会館(役場向かい)

■内容 NPOの基礎講習および広域連携による地域づくり講習

幼児医療費助成事業のお知らせ

松之山町では町内に住所を有する幼児に対して、次の医療費助成を行っております。

■幼児医療費助成(県幼)

1歳から4歳までの「入院」、及び1歳から3歳までの「通院」が対象となります。助成内容は、医療保険各法の自己負担額から一部負担金(通院は一日530円で月4回まで、入院は一日につき1,200円)を差し引いた金額です。

■町単独の医療費助成(単幼)

4歳から6歳に達した最初の3月31日までの入院が対象です。通院は対象外です。助成内容は前項(県幼)の「入院」の場合と同じです。

□助成を受ける場合は、「通院」「入院」別に町が受給者証を発行しますので、町保険センターまで申請においでください。

なお、この助成制度には一部所得制限があります。また、現在交付を受けている方の「受給者証」は8月31日で期限が満了になりますので、再度申請が必要になります。

詳しくは町保健福祉課福祉係までお問い合わせください。
☎6-3705
担当：小野塚まで

献血にご協力ください。

今回は200ml・400mlの一般献血です。

■日時 7月17日(木)

午前9時～12時まで

※午前中のみです

■会場 松之山町役場

東頸城郡医師会 休日当番医のお知らせ

ご利用の際は、電話でご確認の上お出かけください。

7月13日(日)

松之山診療所 ☎6,2240

8月3日(日)

県立松代病院 ☎7,2100

県立松代病院から お知らせ

県立松代病院では、8月から外来のクスリは院外薬局で処方できるようになります。松之山診療所ではすでにこの4月から院外薬局に移行していますが、県立松代病院でもこれと同じ方式に変わります。現在病院近くに2つの薬局が開店の準備を進めています。また8月からは県立松代病院のクスリを松之山薬局などお好きな薬局で出してもらうことができますようになります。わからないことは病院受付にお気軽にお聞きください。

ありがとうございます ございました

中学校で役立てて頂きたいと図書券の贈呈がありました。
埼玉県草加市 小野塚純二様
五万円分

野鳥だより

・カワラヒワ

松之山町野鳥愛護会

初夏の頃、高い木の梢から「ジュイー」という鳴き声が聞こえてきます。「あれっ、セミかな？」と思ったりしますが、まだセミには早い時期です。実は、繁殖期に鳴くカワラヒワの声なのです。

カワラヒワは、松之山では一年中見られる小鳥です。太いくちばしと、飛んでいるときに見られる黄色い帯が特徴です。繁殖期以外では群れをなして飛び回り、草原に降りて食事をしている姿がよく見られます。

昔、松之山ではこの鳥をアオストトと呼び、ホオジロのことをアカストトと呼んでいました。「ストト」という呼び名は、「シトド」という言葉からきたようですが、辞典を開いてみますと、「シトド」はホオジロのことでありました。同じような習性を持つ2種類の小鳥を区別するために、その色から「アオ」「アカ」と呼び分けたのでしようね。



■今月の定例探鳥会

▼日時 7月26日(土)

午前4時30分～7時30分まで

▼場所 バードピア須山(美人林駐車場集合)

▼その他 小雨決行・双眼鏡などがあると便利です

8月のカレンダー

松之山町 CALENDAR

1(金)		16(土)	真夏の笑いの祭典(野村万作公演)
2(土) <small>[大安]</small>	地球環境セミナー	17(日)	松之山診療所休日当番日
3(日)	たいこ楽団「ひのき屋」ライブ(町民体育館) 午後7時開演	18(月)	
4(月)		19(火)	
5(火)	婦人検診(7月24日・29日も実施)	20(水) <small>[大安]</small>	エアロビクス
6(水)	松之山診療所休診 ニコニコ教室、エアロビクス	21(木)	ほのぼの教室
7(木)	ほのぼの教室	22(金)	松之山中学校廃品回収、「植物夜話」その②(森の学校キョロロ) 「森の学校」キョロロ第1回キョロロ講座(町民体育館)
8(金) <small>[大安]</small>		23(土)	
9(土)	「植物夜話」その①(森の学校キョロロ)	24(日)	
10(日)	真夏の夏まつり	25(月)	町長・町議会議員一般選挙公示
11(月)		26(火) <small>[大安]</small>	
12(火)		27(水)	「猿まわしがやってくる」(「森の学校」キョロロ) エアロビクス
13(水)	大書家遺墨展(休養村センター)17日まで 松之山診療所無料健康相談日、エアロビクス	28(木)	ほのぼの教室
14(木) <small>[大安]</small>	ほのぼの教室	29(金)	松之山診療所休診
15(金)	松之山診療所午後休診	30(土)	町長・町議会議員一般選挙投票日
		31(日) <small>[大安]</small>	

1030

第17回 真夏の雪まつり



昨年
の雪上綱引きより

- 日 時 8月10日(日) 午前10時より
- 会 場 六蔵寺高原特設会場
- 問い合わせ 役場振興課 ☎6-3134



- 日 時 8月16日(土) 午後7時開演
- 会 場 松之山町山の上の能楽堂
- 問い合わせ 真夏の笑い祭典実行委員会
TEL 6-3011

8月30日(土)は、町長・町議会議員一般選挙の投票日です。 — 松之山町選挙管理委員会

事業内容
7/15~8/15

湯鳥ガイド

松之山町生涯学習センターより 公民館 ☎6-2265



陶芸教室

【ゆとり陶芸教室】

高齢者向けの陶芸教室です。

▼期日 7月17日(木)

▼時間 午後1時30分~4時

▼場所 ゲートボールハウス

▼費用 粘土代実費

▼講師 村山悦夫(社会教育指導員)

【一般陶芸教室】

一般向けの陶芸教室です。身の回りの小物や置物などを作ってみませんか。

▼期日 7月25日(金)

▼時間 午後7時~9時

▼会場 ゲートボールハウス

▼費用 粘土代実費

▼講師 村山悦夫(社会教育指導員)

【親子陶芸教室】

親子(園児・児童)で陶芸にチャレンジしませんか。

▼期日 8月2日(土)

8月9日(土)

▼時間 午後7時~9時

▼会場 ゲートボールハウス

▼費用 粘土代実費

▼講師 村山悦夫(社会教育指導員)

チャレンジ 湯鳥っ子クラブ

【ニュースポーツ】

キンボールにチャレンジ。直径12.2cmの大王を使って行う、ネットのないバレーボールのようなスポーツ。リズムと作戦がとても大切!

▼期日 8月9日(土)

▼時間 午前9時~12時

▼場所 町民体育館

▼講師 金子禎人

湯鳥大学 町村巡り

▼期日 7月31日(木)

▼時間 午前9時

休養村センター集合

▼場所 津南町

▼講師 村山悦夫(社会教育指導員)

町民体育館一般開放



毎週土曜日の夜7時から9時までの2時間です。事前の申し込みは必要ありません。

※都合で使用できないこともあります。

子ども広場

毎月第2土曜日は、子供たちのための遊びの広場として自然休養村センターを開放しています。ぜひ、遊びに来て下さい。



「松之山ふる里かるた」が完成しました!



松之山の歴史や文化・風俗風習・自慢の観光地などを題材にした「松之山ふる里かるた」がこのほど完成しました。読み札の句や絵札の原画にたくさんのご応募をいただき誠にありがとうございました。家庭や地域でぜひご利用ください。

箱1,000円で販売しています。お問い合わせは、町公民館までお願いします。電話 02559-6-2265 FAX 02559-6-3550

戸籍の窓

おめでた（出生）

該当なし

おくやみ（死亡）

高澤鴻太郎さん 82歳 湯本（五枚田）
 小野塚よ志さん 92歳 湯山（若葉屋）
 本山 ミチさん 93歳 藤原（糍屋）

* 6月1日から6月30日までの届出分です。
 * 広報に載せてほしくない方は、届出の時に窓口にお話ください。

町の動き

6月30日現在

総人口 3,062人 (+2)
 男 1,491人 (+2)
 女 1,571人 (±0)
 世帯数 1,103戸 (+3)
 () 内は前月との比較

町民憲章

昭和53年7月制定

わたしたちは松之山町民です。郷土を愛し、
 みんなでよりよい町づくりをしよう。

町民の合言葉

- 1、美しい緑と雪の中で
心豊かな人になろう
- 1、ブナの梢が触れ合うように
連体の心をもとう
- 1、湧きいづる湯泉のように
創造の力を高めよう

温泉定休日

温泉センター 翌の湯

7月 10・24 15・31

8月 7・28 11

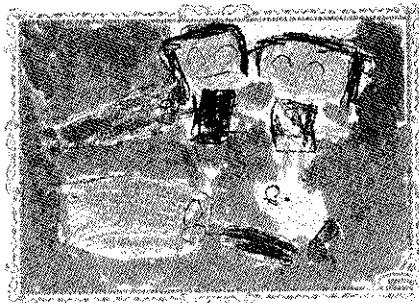


今年も我が家の田んぼに調子ホテルが飛び始めました。できるだけ農薬を控えるくらいしかホテルに協力できることはないのですが、毎年忘れずにきてくれる。この時季の夜の田んぼはホテルのもの。地主といえどもライトは新法度。足下さえ注意すればすぐに仲間にしてくれる。(中略)

ちびっ子 アトリエ

いつも元気なうさぎ組

松里保育所



高橋 憂輝くん
 (天水島・山根)

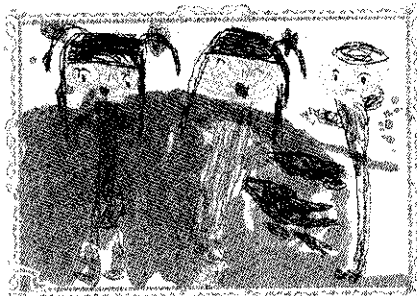
ぼくの絵は
 ながなわが
 得意です

とうちゃんが釣りにいっているところ。
 なつきが見ているの。



柳 依里さん
 (湯本・やなぎ食堂)

わたしの絵は
 お絵かきで大き
 描くのが得意です



ふみなちゃんといくつとえいが
 海で遊んでいるところ。



もうすぐ楽しい夏休み。
 大地の芸術祭で交通量も増加します。

「子供・高齢者を交通事故から守りましょう」

8/1~8/10は夏の交通事故防止運動です。